

新型コロナウイルス感染予防のために

おおうち矯正歯科小児歯科クリニック
院長 大内仁守

今年始め中国で発生した新型コロナウイルスによる感染者数は増加の一途を辿り、終息の気配を見せません。ウイルス性疾患は外からウイルスをもらわないことには感染はしません。

ウイルスの侵入経路は粘膜（口、鼻、喉、目など）です。もともとウイルスは粘膜に発現する受容体（以下レセプター）を介して人の体に侵入してきます。レセプターは健康な時にはタンパク質でできている粘膜に覆われていて、ウイルスがくっつくことはできません。

しかし、体の免疫力が低下したり、お口を不潔にしていると細菌が増殖してきます。細菌はタンパク質を溶かす酵素を出してこの粘膜の壁を壊してしまいます。その結果レセプターが露出してしまい、ウイルスが結合します。これがウイルス感染です。

新型コロナウイルスはACE2 というレセプターを介して細胞内に侵入します。そしてこの ACE2 レセプターは口の中の粘膜、特に舌に多く発現すると報告されています※。

新型コロナウイルスの感染経路は飛沫による、上咽頭（喉から上）からの侵入が最も多いとされています。飛沫とは簡単にいえば唾液のしぶきのことで、主に吐く息や咳、くしゃみなどによって発せられます。

上に書いたように飛沫によってウイルスが体内に侵入しても、レセプターが塞がっていればウイルス感染のリスクは大幅に低下すると考えられます。

このための効果的な方法が歯磨きです。歯磨きをしっかり行ってウイルスとレセプターの結合を防ぐことが何よりも重要です。

虫歯を防ぐばかりでなく、新型コロナウイルス感染予防のためにも、朝晩しっかり歯を磨いてください。自分の歯を磨くことが、感染の拡大を防ぐことにも繋がります。一緒にがんばりましょう。

(※International Journal of Oral Science volume 12, Article number : 8 (2020))